

東日本大震災の記録をお寄せください

遠野市では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災に関するさまざまな資料や記録を収集しています。

市民の皆様が撮影した被災状況や支援活動を記録した写真、動画や手記など、あらゆる記録の提供をお願いします。なお、形式・媒体は問いません。

頂いた記録は、市の責任で適切に保管・活用をさせていただきます。

◎問い合わせ 市沿岸被災地後方支援室(☎62-2111内線382)



炊き出し、避難所、現地での活動の画像や動画のほか、震災時の様子を記した手紙などもお寄せください

後方支援活動にご協力頂き、ありがとうございます

本市に寄せられた災害支援金総額

164, 222, 485円(12月31日現在)

東日本大震災支援金へ多くの皆さまからご厚意をお寄せ頂き、ありがとうございました。沿岸被災地への後方支援活動に活用させていただきます。



本田市長(左)に支援金を手渡す協同組合遠野商業開発の皆さま

- ▽岡田百合子(千葉県) ▽西米良ふるさと交流の会(浜砂勝義会長) ▽遠野俳句会(新田吉司代表) ▽大府団地自治会(石沢健二代表) ▽大府市和歌の会(竹内和江代表) ▽鈴木至男(愛知県大府市) ▽遠野地区社会保険委員会(新里知子会長) ▽(株)共和熱処理(大府市) ▽大府商業まつり実行委員会(伊藤頼一代表) ▽大府市文化協会(大府市) ▽兵庫県福崎町(嶋田正義町長) ▽公益法人武蔵野法人会武蔵野西支部(東京都) ▽大府夏まつり実行委員会(大府市) ▽小倉一郎(大府市) ▽武蔵野市中央地区商店連合会 ▽協同組合遠野商業開発(河野好宣理事長) ▽1976訪ソ青年の船同窓会(岡田俊一代表) ▽山田淳子・晶子(神奈川県) ▽法政大学チーム・オレンジ(高坂宣雄代表) ▽和風天人・ハインドチャイムアンサンブル(柏酒孝鏡代表) ▽前澤化成工業株式会社 ▽遠野中学校昭和37年度卒3年3組同窓会(服部勉代表) ▽武蔵野商工会議所(稲垣英夫会頭) ▽三菱商事都市開発(株)ビス吉祥寺事務所(東京都) 【敬称略】

市長ひとこと

春を待つ

大変厳しい寒さが続いています。先日はマイナス18度。通勤中、あまりの寒さに顔が痛くなり、真冬の厳しさをあらためて感じました。

1月23日に「遠野農業再生協議会」が開催されました。「担い手」「集落」「結びつき」などの言葉が飛び交い、活発な意見が交わされました。いずれの言葉も農業だけではなく、地域づくりにもつながる言葉と感じました。遠野の基幹産業は一次産業です。その一次産業従事者の減少、耕作放棄地、放射性物質汚染問題など、農業課題は山積しています。これらの課題に対する取り組みは、取りも直さず「地域づくり」にもつながると思います。収量や価格の安定的確保の結果はもちろんです。遠野ならではの田園風景や文化の保全もまた大事な取り組みです。

あと2カ月もすれば、遠野の里にも春の訪れを告げるトラックターの耕うんの音が鳴り響きます。「集落で「結びつき」、農業の「担い手」を育てながら、春を待ちたいものです。(本田敏秋)

各分野で栄えある賞に輝いた皆さまをご紹介します

57年間無事故無違反 緑十字金章を受章



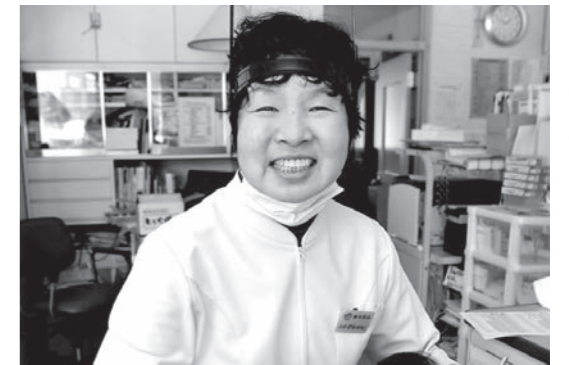
金濱剛三さん(右)と妻の愛さん

金濱剛三さん(77歳)

=上郷町=

金濱剛三さん(自営業)が、交通安全国民中央大会で、交通安全の功労者と優良運転者に贈られる最高賞の交通栄誉章「緑十字金章」を受章しました。また妻の愛さん(72)には、その活動を支えたとして感謝状が送られました。金濱さんは1956年に運転免許を取得して以来57年間、無事故無違反で安全運転を継続。このほか交通安全協会遠野支部理事などを歴任し、街頭運動や毎年上郷町で開催する馬車を使ったパレードなどを通じ、市民の交通安全への意識向上に尽力してきました。金濱さんは「安全運転はあたり前のことをしっかり守ることが重要。今後も安全運転や街頭運動に努め、事故のないまちづくりに貢献したい」と抱負を話してくれました。

34年間宮守歯科診療所に勤務 医療功労賞を受賞



診察後の一コマ。常に笑顔で心掛けている深澤所長

深澤範子さん(61歳)

=盛岡市(宮守町出身)=

地域医療に長年貢献した人をたたえる「第41回医療功労賞」(読売新聞社主催)を、宮守歯科診療所の深澤範子所長が受賞しました。深澤所長は1979年に赴任以来、34年間にわたり主に宮守地域の歯科診療に従事。口にくわえながら表情筋を鍛え、体全体の健康につながる「パタカラ」の普及にも努め、市民の健康づくりに貢献してきました。長年通う患者さんの中には駐車場の雪かきボランティアを買って出る人もおり、立場を越えた交流も生まれています。深澤所長は「歯の診療はチームプレイ。スタッフの支えと患者さまの理解のおかげで成り立っています。今後も予防に取り組み、口の健康づくりから体全体の健康につなげたい」と決意を新たにしていました。

夢とつぶ遠野



受賞を喜ぶ夢とつぶ遠野の皆さんと、「遠野ふるさと野菜」代表の高橋義明さん(後列左)

野菜ソムリエ品評会で 全国入賞

遠野建設工業の農業部門「夢とつぶ遠野」(阿部則勝代表、スタッフ5人)が栽培する寒締めホウレンソウが、日本野菜ソムリエ協会が主催する品評会「野菜ソムリエエサミット」で、県勢では初めて入賞しました。同会の長洞由視会長が、平成16年から農協などのサポートを得て栽培を始めた寒締めホウレンソウを、野菜などの移動販売を手掛ける「遠野ふるさと野菜」代表の高橋義明さんが推薦。13回目となる品評会のテーマはホウレンソウで、事前選考を通過した11点を、40人の野菜ソムリエが審査しました。その結果、香りや味などの「食味評価」部門で4位、外観や価格などの「購入評価」部門で5位に輝きました。長洞直行常務は「遠野の野菜が評価され、励みになる。今後も品質にこだわり販路拡大にも努めたい」と意気込んでいました。